



1. 2020 学年度の選考を全地区で実施

2020年4月採用の新規米山奨学生の面接選考が2月2日までに、全国34地区の各選考委員会によって行われました。

指定校からの申込者1,420人のうち、学部・修士・博士課程奨学金と地区奨励奨学金、クラブ支援奨学金を合わせた601人が合格内定者として選出されました（今後、他の奨学金合格等による辞退・繰上げによって人数の変動あり）。このほか、渡日前採用型の海外応募者対象奨学金が15人（15地区）、台湾および韓国

の米山学友会が候補者（博士号をもつ上級研究員）を推薦する海外学友会推薦奨学金1人（韓国）の合格内定者が報告されています。

これらの内定者は2月19日の選考・学務委員会での協議を経て、常務理事会、理事会で書面協議を行い、合格者として承認。合格通知は大学宛てに発送済みです。2020学年度の奨学生数は、この新規合格者と昨年度からの継続奨学生を合わせた889人（3月12日現在）となります。

2. 終了式・オリエンテーションの開催状況



新型コロナウイルスの感染拡大は、イベント自粛や学校の休校など、社会に深刻な影響を与えています。ロータリー地区においても例外ではなく、例年2～3月に各地区で開催される米山奨学生の終了式も今年は中止や縮小を余儀なくされた地区が多くありました。

現在、当会では、終了式およびオリエンテーションの開催状況について、各地区にアンケートを実施中です。3月11日現在、34地区中27地区から回答をいただいております。終了式について「中止した」という地区は17地区、「予定通り開催した」と回答した10地区も、「規模を縮

小して実施」、「懇親会は行わず授与式のみ」など、感染予防に最大限配慮した対策が取られました。

4月上旬から5月にかけて各地区で開催されるオリエンテーションについては、新規奨学生への重要事項の説明の場であることから、現時点では「予定の日程通り開催する」と回答した地区が多いものの、「今後の状況により延期・中止の可能性あり」とする地区も

あり、まだ流動的な状況です。集合型オリエンテーションの中止を決定し、「地区委員が手分けして電話で説明」、「奨学会のパワーポイント資料の解説動画をつくり、奨学生には視聴後に感想文を提出してもらう」などで対応する地区もあります。

過去に経験したことのない困難な状況の中で新学年度がスタートしますが、米山奨学生たちが「ロータリーと出合って本当に良かった」と言ってくれるよう、当会としましても、各地区と連携して万全を期す所存です。何とぞご協力のほど、よろしくお願いたします。

3. 寄付金速報 — 新型コロナウイルスの影響で大幅減 —

2月までの寄付金は前年同期と比べて3.0%減（普通寄付金:2.2%減、特別寄付金:3.4%減）、約3,400万円の減少となりました。昨年に比べて稼働日が1日多かったにもかかわらず、前年単月比では1,900万円のマイナスとなりました。新型コロナウイルスの影響により3

月末まで例会を休会とするクラブも多く、人や物の動きが制限され、日本経済のみならず世界的な経済不況が懸念されます。今後さらに米山奨学会への寄付金に影響が出ることは避けられないと思われませんが、1日も早く事態が収束することを願って止みません。

4. マレーシア学友会総会 — 米山の友情を確認 —

マレーシア米山学友会の総会が2月16日、クアラルンプールで開催されました。前年に続き首都で開催された今回の総会には、初参加も含め、マレーシア全土から学友・家族など27人が参加。日本からもロータリアン2人がゲストとして出席しました。

学友会会長の黄麗容さん（2001-04／横浜泉RC）は「学友会を設立して、成長の機会をいただきました。継続は力。“大変だからやめよう”という選択肢はありません。学友会は続け



る価値のある活動です」と力強く挨拶。また、副会長のン・ケアン・エンさん（1998-2000／室蘭東RC）も「もし米山奨学金をいただいていたら、今日の成功はありませんでした。おかげ

で良い環境で研究ができました。いつも感謝をしています。感謝の気持ちを学友会活動につなげたい」と、会員に語りかけました。

当日は、新型コロナウイルスへの懸念から欠席する会員もいましたが、遠くペナンからも学友が集まり、米山学友の友情と、ロータリーの絆を確かめ合う機会となりました。

5. タイ学友会総会 — 新役員が決定 —

タイ米山学友会の総会が2月22日、バンコク市内ホテルで開催され、学友17人、ロータリアンや海外からのゲスト6人、学友の家族を合わせ、総勢29人が参加しました。

総会では、年間の活動が報告されたほか新役員が紹介され、3月からの新会長にはワシン・テイシヤシヤイニランさん（2011-12／東京清瀬RC）が就任。また、副会長にはインタラット・ヌンヌットさ



ん（2006-07／横浜鶴見北RC）、ほか4人の理事が決定しました。

新会長に就任したワシンさんは、「今、一番心配なのは新型コロナウイルスのこと」とし、「日本のロータリアンやご家族の健康を願っています。東京オリンピック、皆さまのお仕事と生活にも影響が出ていると思いますが、皆さまならこの困難を必ず乗り越えることができますと信じています。また来年、私たちの総会にもぜひ来て下さい」と、コメントを寄せてくれました。